

東京書籍「文学国語」(文国 701)

■「光の窓」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②時代の特質 (2) ア	・筆者の幼少期の生活環境や外国の絵画作品との出会い方を理解し、説明している。	・筆者の幼少期の生活環境や外国の絵画作品との出会い方を理解している。	・筆者の幼少期の生活環境や外国の絵画作品との出会い方を理解していない。
	③読書の意義 (2) イ	・筆者のものの見方、感じ方、考え方を読み取ることを通して、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める意義を理解し、根拠をもって説明している。	・筆者のものの見方、感じ方、考え方を読み取ることを通して、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める意義を理解している。	・筆者のものの見方、感じ方、考え方を読み取ることを通して、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める意義を理解していない。
思考・判断・表現	④内容把握 読(1) ア	・筆者が、幼年期と大人になってからの自分の絵の見方を、それぞれどう捉えているかを読み取り、根拠とともに説明している。 ・「おまえ、墮落したな。」に込められた筆者の思いを理解し、説明している。 ・「光の窓」というタイトルの意味を理解し、説明している。	・筆者が、幼年期と大人になってからの自分の絵の見方を、それぞれどう捉えているかを読み取っている。 ・「おまえ、墮落したな。」に込められた筆者の思いを理解している。 ・「光の窓」というタイトルの意味を理解している。	・筆者が、幼年期と大人になってからの自分の絵の見方を、それぞれどう捉えているかを読み取っていない。 ・「おまえ、墮落したな。」に込められた筆者の思いを理解していない。 ・「光の窓」というタイトルの意味を理解していない。
	⑤考えの形成 読(1) カ	・筆者の、言葉と感覚との関係の捉え方を理解し、自分の好きな絵の魅力と自分自身の感覚を関連づけて考えを深め、その内容を説明している。	・筆者の、言葉と感覚との関係の捉え方を理解し、自分の好きな絵の魅力と自分自身の感覚を関連づけて考えを深めている。	・筆者の、言葉と感覚との関係の捉え方を理解していないか、理解していても自分の好きな絵の魅力と自分自身の感覚を関連づけて考えていない。

<p>主体的に 学習に取り 組む態度</p>	<p>⑥考察</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自分の好きな絵の魅力と自分自身の感覚を関連づけて考えをまとめ、発表を通して更に考えを深めようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の好きな絵の魅力と自分自身の感覚を関連づけて考えをまとめ、発表しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の好きな絵の魅力と自分自身の感覚を関連づけて考えをまとめ、発表しようとしていない。
--------------------------------	------------	--	--	---

■「雨月物語」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 〔1〕アイ	・本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②文学作品の知識 〔2〕ア	・『怪談』や『雨月物語』がどのような作品か理解し、説明している。	・『怪談』や『雨月物語』がどのような作品か理解している。	・『怪談』や『雨月物語』がどのような作品か理解していない。
思考・判断・表現	③内容把握 読〔1〕ア	・子供の頃の筆者が『雨月物語』を読み、何を考え、何を感じたかを読み取り、根拠とともに説明している。 ・筆者がどのようなことを「これ以上ない希望だった」と述べているのかを読み取り、根拠とともに説明している。 ・「物語」に対する筆者の考えの変化を整理し、説明している。	・子供の頃の筆者が『雨月物語』を読み、何を考え、何を感じたかを読み取っている。 ・筆者がどのようなことを「これ以上ない希望だった」と述べているのかを読み取っている。 ・「物語」に対する筆者の考えの変化を整理している。	・子供の頃の筆者が『雨月物語』を読み、何を考え、何を感じたかを読み取っていない。 ・筆者がどのようなことを「これ以上ない希望だった」と述べているのかを読み取っていない。 ・「物語」に対する筆者の考えの変化を整理していない。
	④考えの形成 読〔1〕カ	・『雨月物語』が筆者に与えた影響から、「物語」に対する自分のものの見方、感じ方、考え方を深めて、それについて根拠をもって説明している。	・『雨月物語』が筆者に与えた影響から、「物語」に対する自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。	・『雨月物語』が筆者に与えた影響から、「物語」に対する自分のものの見方、感じ方、考え方を深めていない。
学習に主体的に取り組む態度	⑤意見の提示	・『雨月物語』が筆者に与えた影響を理解し、「物語」に対する自分の考えをまとめ、説明しようとしている。	・『雨月物語』が筆者に与えた影響を理解し、「物語」に対する自分の考えをまとめようとしている。	・『雨月物語』が筆者に与えた影響を理解していないか、理解していても「物語」に対する自分の考えをまとめようとしていない。

■「山月記」ループリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・漢文調を生かした語句について、指示されたものに限らず、自ら探して調べ、意味や使われ方について理解している。	・漢文調を生かした語句について、指示されたものについて意味や使われ方を理解している。	・漢文調を生かした語句について、指示されたものについて意味や使われ方を理解していない。
	②時代の特質 (2) ア	・作者の生きた時代背景や作者の立場を理解し、その内容を説明している。 ・中国・唐代の官僚制や地名について理解し、その内容を説明している。	・作者の生きた時代背景や作者の立場を理解している。 ・中国・唐代の官僚制や地名について理解している。	・作者の生きた時代背景や作者の立場を理解していない。 ・中国・唐代の官僚制や地名について理解していない。
	③読書の意義 (2) イ	・登場人物の考え方や生き方を読み取ることを通して、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める意義について理解し、根拠をもって説明している。	・登場人物の考え方や生き方を読み取ることを通して、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める意義について理解している。	・登場人物の考え方や生き方を読み取ることを通して、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める意義について理解していない。
思考・判断・表現	④内容把握と解釈 読 (1) アイ	・語り手の変化を踏まえて場面分けをして全体の構成を把握し、その内容を説明している。 ・李徴の生い立ちと人間像について読み取り、根拠とともに説明している。 ・李徴が虎になった経緯と虎になった心情を読み取り、根拠とともに説明している。 ・李徴が自らの詩を袁愔に伝えた理由と、袁愔がその作品をどのように感じたかを読み取り、根拠とともに説明している。 ・李徴の心情の変化を読み取り、根拠とともに説明している。	・語り手の変化を踏まえて場面分けをして全体の構成を把握している。 ・李徴の生い立ちと人間像について読み取っている。 ・李徴が虎になった経緯と虎になった心情を読み取っている。 ・李徴が自らの詩を袁愔に伝えた理由と、袁愔がその作品をどのように感じたかを読み取っている。 ・李徴の心情の変化を読み取っている。	・語り手の変化を踏まえて場面分けをして全体の構成を把握していない。 ・李徴の生い立ちと人間像について読み取っていない。 ・李徴が虎になった経緯と虎になった心情を読み取っていない。 ・李徴が自らの詩を袁愔に伝えた理由と、袁愔がその作品をどのように感じたかを読み取っていない。 ・李徴の心情の変化を読み取っていない。

<p>主体的に 学習に取り 組む態度</p>	<p>⑤考察・話し合い</p>	<p>・李徴の生き方についての自分の考えをまとめ、話し合いを通して自分の考えを更に深めようとしている。</p>	<p>・李徴の生き方についての自分の考えをまとめ、話し合おうとしている。</p>	<p>・李徴の生き方についての自分の考えをまとめ、話し合おうとしていない。</p>
--------------------------------	-----------------	---	--	---

■「窓」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 〔1〕アイ	<ul style="list-style-type: none"> 本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②文学作品の知識 〔2〕ア	<ul style="list-style-type: none"> サキ、カフカとその作品の特徴を理解し、その内容を説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> サキ、カフカとその作品の特徴を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> サキ、カフカとその作品の特徴を理解していない。
思考・判断・表現	③内容把握 読〔1〕ア	<ul style="list-style-type: none"> 「短編小説」が、小説を「小さな『窓』』と言ったのはどのようなことを表しているか読み取り、根拠とともに説明している。 「短編小説」が人を一編の小説に例えた理由を読み取り、根拠とともに説明している。 窓から外の風景を見ている「僕」の心情を読み取り、根拠とともに説明している。 場面や登場人物の設定における特徴を理解し、その効果を説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「短編小説」が、小説を「小さな『窓』』と言ったのはどのようなことを表しているか読み取っている。 「短編小説」が人を一編の小説に例えた理由を読み取っている。 窓から外の風景を見ている「僕」の心情を読み取っている。 場面や登場人物の設定における特徴を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「短編小説」が、小説を「小さな『窓』』と言ったのはどのようなことを表しているか読み取っていない。 「短編小説」が人を一編の小説に例えた理由を読み取っていない。 窓から外の風景を見ている「僕」の心情を読み取っていない。 場面や登場人物の設定における特徴を理解していない。
	④解釈の多様性 読〔1〕エ	<ul style="list-style-type: none"> 「短編小説」が何を象徴しているかについて自分の考えをもち、根拠とともにその内容を説明している。 発表者の記憶の風景の発表を聞いて、さまざまな記憶の捉え方を理解し、根拠とともに説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「短編小説」が何を象徴しているかについて自分の考えをもっている。 発表者の記憶の風景の発表を聞いて、さまざまな記憶の捉え方を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「短編小説」が何を象徴しているかについて自分の考えをもっていない。 発表者の記憶の風景の発表を聞いて、さまざまな記憶の捉え方を理解していない。

<p>主体的に 学習に取り 組む態度</p>	<p>⑤作文</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分自身の記憶の風景を思い出して文章を書き，発表を通して更に考えを深めようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分自身の記憶の風景を思い出して文章を書いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分自身の記憶の風景を思い出して文章を書いていない。
--------------------------------	------------	---	---	--

■ 「【言語活動】小説を創作する」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き (1)ア	・小説の創作に必要な言葉を理解し、正しく選択して書いており、読み手の想像を喚起する言葉や表現を用いている。	・小説の創作に必要な言葉を理解し、正しく選択して書いている。	・小説の創作に必要な言葉を理解せず、正しく選択して書いていない。
	②小説創作の理解 (1)ウ	・小説を書く際には、「何をどのように書くか」を明確にしたうえで、書きたいことにふさわしい文体や表現を工夫して書くことを理解し、その内容を説明している。	・小説を書く際には、「何をどのように書くか」を明確にしたうえで、書きたいことにふさわしい文体や表現を工夫して書くことを理解している。	・小説を書く際には、「何をどのように書くか」を明確にしたうえで、書きたいことにふさわしい文体や表現を工夫して書くことを理解していない。
	③表現の技法 (1)エ	・文学的な文章表現の技法を理解し、書きたいことにふさわしいものを選択して書いている。	・文学的な文章表現の技法を理解して書いている。	・文学的な文章表現の技法を理解していない。
思考・判断・表現	④内容の検討 書(1)ア	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が書きたいことを明確にして、大まかなストーリー、登場人物、時間と場所、人称と視点について、根拠をもって選択し、メモを作っている。 ・作ったメモを参考にしながら、丁寧に言葉を選び、小説を書いている。 ・自分が書いたものを推敲し、よりよい表現になるように工夫している。 ・グループで批評し合い、それを受けて見直し、よい表現になるように工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が書きたいことを明確にして、大まかなストーリー、登場人物、時間と場所、人称と視点について、メモを作っている。 ・作ったメモを参考にしながら、小説を書いている。 ・自分が書いたものを推敲している。 ・グループで批評し合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が書きたいことを明確にしていなかったり、大まかなストーリー、登場人物、時間と場所、人称と視点について、メモを作っていない。 ・メモの準備もなく、ただ漠然と小説を書いている。 ・自分が書いたものを推敲していない。 ・グループで批評し合っていない。
主体的に学習に取り組む態度	⑤小説の創作	・「何をどのように書くか」を明確にして小説を創作し、推敲したり友達の批評を受けて見直したりして、よりよい文章にしようとしている。	・「何をどのように書くか」を明確にして、小説を創作しようとしている。	・「何をどのように書くか」を明確にせず、ただ漠然と小説を創作しようとしている。

■「言葉を生きる」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②作品の背景 (2) ア	・柳宗悦と「妹の死」の内容、書かれた背景について理解し、説明している。	・柳宗悦と「妹の死」の内容、書かれた背景について理解している。	・柳宗悦と「妹の死」の内容、書かれた背景について理解していない。
	③読書の意義 (2) イ	・筆者のものの見方、感じ方、考え方を読み取ることを通して、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める意義について理解し、根拠をもって説明している。	・筆者のものの見方、感じ方、考え方を読み取ることを通して、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める意義について理解している。	・筆者のものの見方、感じ方、考え方を読み取ることを通して、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める意義について理解していない。
思考・判断・表現	④内容把握 読(1) ア	・「言葉と交わる」という筆者の考えを読み取り、根拠とともに説明している。 ・筆者が、「悲しみの経験」をどのように考えているかを読み取り、根拠とともに説明している。	・「言葉と交わる」という筆者の考えを読み取っている。 ・筆者が、「悲しみの経験」をどのように考えているかを読み取っている。	・「言葉と交わる」という筆者の考えを読み取っていない。 ・筆者が、「悲しみの経験」をどのように考えているかを読み取っていない。
	⑤考えの形成 読(1) カ	・「悲しみの経験」についての筆者の考え方を理解し、「生きること」と「言葉」について自分の考えを深め、根拠をもって説明している。	・「悲しみの経験」についての筆者の考え方を理解し、「生きること」と「言葉」について自分の考えを深めている。	・「悲しみの経験」についての筆者の考え方を理解していないか、理解していても「生きること」と「言葉」について自分の考えを深めていない。
学習に主体的に取り組む態度	⑥考察・話し合い	・「生きること」と「言葉」の関係について、自分の考えをまとめ、発表を通して更に考えを深めようとしている。	・「生きること」と「言葉」の関係について、自分の考えをまとめ、話し合おうとしている。	・「生きること」と「言葉」の関係について、自分の考えをまとめ、話し合おうとしていない。

■ 「詩と感情生活」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・ 語彙 〔1〕アイ	・本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②作品の背景 〔2〕ア	・唐詩「代悲白頭翁」がどのような作品か理解し、説明している。	・唐詩「代悲白頭翁」がどのような作品か理解している。	・唐詩「代悲白頭翁」がどのような作品か理解していない。
思考・判断・表現	③内容把握 読〔1〕ア	<ul style="list-style-type: none"> ・「詩は何の役に立つのか」という問いについて、筆者の考えを読み取り、根拠とともに説明している。 ・筆者は「詩の言葉」と「物事を指示する言葉」をどのようなものだと捉えているか読み取り、根拠とともに説明している。 ・詩における論理的矛盾についての筆者の考えを読み取り、根拠とともに説明している。 ・筆者が「詩（主として抒情詩）」はどのようなものだと考えているかを読み取り、根拠とともに説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「詩は何の役に立つのか」という問いについて、筆者の考えを読み取っている。 ・筆者は「詩の言葉」と「物事を指示する言葉」をどのようなものだと捉えているか読み取っている。 ・詩における論理的矛盾についての筆者の考えを読み取っている。 ・筆者が「詩（主として抒情詩）」はどのようなものだと考えているかを読み取っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「詩は何の役に立つのか」という問いについて、筆者の考えを読み取っていない。 ・筆者は「詩の言葉」と「物事を指示する言葉」をどのようなものだと捉えているか読み取っていない。 ・詩における論理的矛盾についての筆者の考えを読み取っていない。 ・筆者が「詩（主として抒情詩）」はどのようなものだと考えているかを読み取っていない。
	④考えの形成 読〔1〕カ	・筆者の、詩の捉え方を読み取ることを通して、詩の特質についての自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、その内容を説明している。	・筆者の、詩の捉え方を読み取ることを通して、詩の特質についての自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。	・筆者の、詩の捉え方を読み取ることを通して、詩の特質についての自分のものの見方、感じ方、考え方を深めていない。

<p>主体的に 学習に取り 組む態度</p>	<p>⑤意見の提示</p>	<p>・筆者の主張を踏まえて、詩の特質について、 自分の考えを深め、説明しようとしている。</p>	<p>・筆者の主張を踏まえて、詩の特質について、 自分の考えを深めようとしている。</p>	<p>・筆者の主張を踏まえて、詩の特質について、 自分の考えを深めようとしていない。</p>
--------------------------------	---------------	---	---	--

■ 「【言語活動】書評を書く」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き 〔1〕ア	・書評の執筆に必要な言葉を理解し、正しく選択して書いており、本の内容について想像を喚起する言葉を用いている。	・書評の執筆に必要な言葉を理解し、正しく選択して書いている。	・書評の執筆に必要な言葉を理解せず、正しく選択して書いていない。
	②書評の理解 〔1〕ウ	・書評の特徴を踏まえ、作品の内容紹介と評価を区別して書くことを理解し、その内容を説明している。	・書評の特徴を踏まえ、作品の内容紹介と評価を区別して書くことを理解している。	・書評の特徴を踏まえず、作品の内容紹介と評価を区別して書くことを理解していない。
	③表現の技法 〔1〕エ	・書評にふさわしい文体や表現を理解し、根拠をもって選択して書いている。	・書評にふさわしい文体や表現を理解して書いている。	・書評にふさわしい文体や表現を理解して書いていない。
思考・判断・表現	④内容の評価 読〔1〕ア	・選んだ作品の内容や表現の特色を客観的に分析し、根拠をもって、評価している。	・選んだ作品の内容や表現の特色を評価している。	・選んだ作品の内容や表現の特色を評価していない。
	⑤比較・考察 読〔1〕ウ	・友達の書評を読むことを通して、よい書評についての考えを深め、根拠とともに説明している。 ・友達の書いた書評と、取り上げられている作品を読み比べ、その作品の構成や展開、表現の工夫の効果について理解し、根拠とともに説明している。	・友達の書評を読むことを通して、よい書評についての考えを深めている。 ・友達の書いた書評と、取り上げられている作品を読み比べ、その作品の構成や展開、表現の工夫の効果について理解している。	・友達の書評を読むことを通して、よい書評についての考えを深めていない。 ・友達の書いた書評と、取り上げられている作品を読み比べていないか、読み比べていても、その作品の構成や展開、表現の工夫の効果について理解していない。
主体的に学習に取り組む態度	⑥書評の執筆・評価	・書評の特徴を理解して書評を書こうとし、また友達の書評を読むことを通して、本への興味を広げようとしている。	・書評の特徴を理解して、書評を書こうとしている。	・書評の特徴を理解していないか、理解していても書評を書こうとしていない。

■「山椒魚」ループリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 〔1〕アイ	・本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②時代の特質 〔2〕ア	・作品が書かれた時代背景を理解し、その内容を説明している。	・作品が書かれた時代背景を理解している。	・作品が書かれた時代背景を理解していない。
	③読書の意義 〔2〕イ	・作品に込められた寓意を捉えることを通して、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める意義を理解し、根拠をもって説明している。	・作品に込められた寓意を捉えることを通して、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める意義を理解している。	・作品に込められた寓意を捉えることを通して、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める意義を理解していない。
思考・判断・表現	④内容把握 読〔1〕ア	<ul style="list-style-type: none"> ・岩屋の内外の動植物の様子と、それぞれに対する山椒魚の気持ちを読み取り、根拠とともに説明している。 ・小えびの侵入に伴う山椒魚の心境の変化と、その後の山椒魚の行動を読み取り、説明している。 ・山椒魚と蛙の関係の変化から、蛙が山椒魚に与えた影響を読み取り、根拠とともに説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・岩屋の内外の動植物の様子と、それぞれに対する山椒魚の気持ちを読み取っている。 ・小えびの侵入に伴う山椒魚の心境の変化と、その後の山椒魚の行動を読み取っている。 ・山椒魚と蛙の関係の変化から、蛙が山椒魚に与えた影響を読み取っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・岩屋の内外の動植物の様子と、それぞれに対する山椒魚の気持ちを読み取っていない。 ・小えびの侵入に伴う山椒魚の心境の変化と、その後の山椒魚の行動を読み取っていない。 ・山椒魚と蛙の関係の変化から、蛙が山椒魚に与えた影響を読み取っていない。
	⑤解釈の多様性 読〔1〕エ	・小説に込められた寓意を考察し、自分自身の生き方や考え方に触れながら、解釈し、説明している。	・小説に込められた寓意を考察し、自分自身の生き方や考え方に触れながら、解釈している。	・小説に込められた寓意を考察していないか、考察していても、自分自身の生き方や考え方に触れず、解釈していない。

<p>主体的に 学習に取り 組む態度</p>	<p>⑥考察</p>	<ul style="list-style-type: none"> 小説に込められた寓意について感じたことを、自分自身の生き方や考え方に触れながらまとめ、考察を深めようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 小説に込められた寓意について感じたことを、自分自身の生き方や考え方に触れながらまとめようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 小説に込められた寓意について感じたことを、自分自身の生き方や考え方に触れながらまとめようとしていない。
--------------------------------	------------	--	--	---

■「沖縄の手記から」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・ 語彙 〔1〕アイ	・本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②文学作品の知識 〔2〕ア	・作品の時代背景や当時の沖縄の状況を理解し、その内容を説明している。	・作品の時代背景や当時の沖縄の状況を理解している。	・作品の時代背景や当時の沖縄の状況を理解していない。
思考・判断・表現	③内容把握 読〔1〕ア	<ul style="list-style-type: none"> ・当間キヨに対する「私」の心情の変化を、状況の変化とともに読み取り、その根拠を説明している。 ・「私」と出会って別れるまでの当間キヨの心情の変化を、状況の変化とともに読み取り、根拠とともに説明している。 ・「私」が当間キヨの前で自然にひざまずいた時の「私」の気持ちを読み取り、根拠とともに説明している。 ・当間キヨと同じ嗚咽がこみ上げてきた時の「私」の気持ちを読み取り、根拠とともに説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当間キヨに対する「私」の心情の変化を、状況の変化とともに読み取っている。 ・「私」と出会って別れるまでの当間キヨの心情の変化を、状況の変化とともに読み取っている。 ・「私」が当間キヨの前で自然にひざまずいた時の「私」の気持ちを読み取っている。 ・当間キヨと同じ嗚咽がこみ上げてきた時の「私」の気持ちを読み取っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当間キヨに対する「私」の心情の変化を、状況の変化とともに読み取っていない。 ・「私」と出会って別れるまでの当間キヨの心情の変化を、状況の変化とともに読み取っていない。 ・「私」が当間キヨの前で自然にひざまずいた時の「私」の気持ちを読み取っていない。 ・当間キヨと同じ嗚咽がこみ上げてきた時の「私」の気持ちを読み取っていない。
	④考えの形成 読〔1〕カ	・戦争の中に生きる登場人物の生き方や考え方を理解し、人間の生死について自分の考えをまとめ、説明している。	・戦争の中に生きる登場人物の生き方や考え方を理解し、人間の生死について自分の考えをまとめている。	・戦争の中に生きる登場人物の生き方や考え方を理解していないか、理解していても人間の生死について自分の考えをまとめている。

<p>主体的に 学習に取り 組む態度</p>	<p>⑤考察</p>	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物の生き方や考え方から、人間の生死について自分の考えをまとめ、考察を深めようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物の生き方や考え方から、人間の生死について自分の考えをまとめようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物の生き方や考え方から、人間の生死について自分の考えをまとめようとしていない。
--------------------------------	------------	---	---	--

■「鉄」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 〔1〕アイ	・詩の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・詩の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・詩の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②詩の理解 〔2〕ア	・作品に表れている作者の個性や表現の特色を理解し、説明している。	・作品に表れている作者の個性や表現の特色を理解している。	・作品に表れている作者の個性や表現の特色を理解していない。
	③読書の意義 〔2〕イ	・詩の鑑賞を通して、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める意義を理解し、根拠をもって説明している。	・詩の鑑賞を通して、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める意義を理解している。	・詩の鑑賞を通して、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める意義を理解していない。
思考・判断・表現	④内容把握 読〔1〕ア	・「鉄」とはどのようなものを表しているのかを読み取り、根拠とともに説明している。 ・「わたし」が「変わること」をどのように捉えているかを読み取り、根拠とともに説明している。	・「鉄」とはどのようなものを表しているのかを読み取っている。 ・「わたし」が「変わること」をどのように捉えているかを読み取っている。	・「鉄」とはどのようなものを表しているのかを読み取っていない。 ・「わたし」が「変わること」をどのように捉えているかを読み取っていない。
	⑤内容の解釈 読〔1〕イ	・作者の視点や表現の特色を理解したうえで、共感できる点をまとめ、根拠とともに説明している。	・作者の視点や表現の特色を理解したうえで、共感できる点をまとめている。	・作者の視点や表現の特色を理解したうえで、共感できる点をまとめている。
主体的に学習に取り組む態度	⑥考察・話し合い	・作品に共感できる点をまとめ、話し合いを通して更に考えを深めようとしている。	・作品に共感できる点をまとめ、話し合おうとしている。	・作品に共感できる点をまとめ、話し合おうとしていない。

■「竹」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・詩の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・詩の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・詩の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②詩の理解 (2) ア	・作品の特徴的なリズムや表現とその効果を理解し、説明している。	・作品の特徴的なリズムや表現とその効果を理解している。	・作品の特徴的なリズムや表現とその効果を理解していない。
	③読書の意義 (2) イ	・詩の鑑賞を通して、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める意義を理解し、根拠をもって説明している。	・詩の鑑賞を通して、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める意義を理解している。	・詩の鑑賞を通して、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める意義を理解していない。
思考・判断・表現	④内容把握 読(1)ア	・第一連と第二連を比較して、竹の姿がそれぞれどのように表現されているかを読み取り、その内容を説明している。	・第一連と第二連を比較して、竹の姿がそれぞれどのように表現されているかを読み取っている。	・第一連と第二連を比較して、竹の姿がそれぞれどのように表現されているかを読み取っていない。
	⑤内容の解釈 読(1)イ	・作者の視点や表現の特色を理解したうえで、どのような心情が表現されているかについて自分の考えをまとめ、その内容を説明している。	・作者の視点や表現の特色を理解したうえで、どのような心情が表現されているかについて自分の考えをまとめている。	・作者の視点や表現の特色を理解したうえで、どのような心情が表現されているかについて自分の考えをまとめている。
学習に取り組む態度 主体的に	⑥考察・話し合い	・作品に表現されている心情について、自分の考えをまとめ、話し合いを通して更に考えを深めようとしている。	・作品に表現されている心情について、自分の考えをまとめ、話し合おうとしている。	・作品に表現されている心情について、自分の考えをまとめ、話し合おうとしていない。

■「永訣の朝」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・詩の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・詩の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・詩の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②詩の理解 (2) ア	・作品に表れている作者の個性や表現の特色を理解し、説明している。	・作品に表れている作者の個性や表現の特色を理解している。	・作品に表れている作者の個性や表現の特色を理解していない。
	③読書の意義 (2) イ	・詩の鑑賞を通して、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める意義を理解し、根拠をもって説明している。	・詩の鑑賞を通して、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める意義を理解している。	・詩の鑑賞を通して、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める意義を理解していない。
思考・判断・表現	④内容把握 読(1) ア	<ul style="list-style-type: none"> ・「わたくし」の行動と心情の変化を読み取り、全体を4つの部分に分けて整理し、その内容を説明している。 ・「わたくし」の心情を読み取り、その内容を説明している。 ・「いもうと」の心情を読み取り、その内容を説明している。 ・「雪」に作者が込めた思いを読み取り、その内容を説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「わたくし」の行動と心情の変化を読み取り、全体を4つの部分に分けて整理している。 ・「わたくし」の心情を読み取っている。 ・「いもうと」の心情を読み取っている。 ・「雪」に作者が込めた思いを読み取っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「わたくし」の行動と心情の変化を読み取り、全体を4つの部分に分けて整理していない。 ・「わたくし」の心情を読み取っていない。 ・「いもうと」の心情を読み取っていない。 ・「雪」に作者が込めた思いを読み取っていない。
	⑤内容の解釈 読(1) イ	・描かれた行動や言葉、表現の特色を理解したうえで、「わたくし」の「いもうと」に対する思いについて自分の考えをまとめ、その内容を説明している。	・描かれた行動や言葉、表現の特色を理解したうえで、「わたくし」の「いもうと」に対する思いについて自分の考えをまとめている。	・描かれた行動や言葉、表現の特色を理解したうえで、「わたくし」の「いもうと」に対する思いについて自分の考えをまとめている。

<p>主体的に 学習に取り 組む態度</p>	<p>⑥考察・話し合い</p>	<p>・作品の主題と、それを支える優れた表現だと思ふ点について、自分の考えをまとめ、話し合いを通して更に考えを深めようとしている。</p>	<p>・作品の主題と、それを支える優れた表現だと思ふ点について、自分の考えをまとめ、話し合おうとしている。</p>	<p>・作品の主題と、それを支える優れた表現だと思ふ点について、自分の考えをまとめ、話し合おうとしていない。</p>
--------------------------------	-----------------	---	---	--

■「硝子の駒—短歌抄」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・短歌の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・短歌の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・短歌の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②短歌の理解 (2) ア	・短歌独自の表現の特徴と表現効果を理解し、根拠をもって説明している。	・短歌独自の表現の特徴と表現効果を理解している。	・短歌独自の表現の特徴と表現効果を理解していない。
	③読書の意義 (2) イ	・短歌の鑑賞を通して、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める意義を理解し、根拠をもって説明している。	・短歌の鑑賞を通して、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める意義を理解している。	・短歌の鑑賞を通して、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める意義を理解していない。
思考・判断・表現	④内容把握 読(1) ア	・それぞれの歌が、どのような情景や心情を表現しているかを読み取り、説明している。	・それぞれの歌が、どのような情景や心情を表現しているかを読み取っている。	・それぞれの歌が、どのような情景や心情を表現しているかを読み取っていない。
	⑤比較・考察 読(1) ウ	・それぞれの歌の表現の特徴や技法を、比較しながら理解し、説明している。 ・最も印象に残った歌について、どのような点にひかれたかを、根拠をもって文章にまとめている。 ・友達がまとめた文章を読み、歌の表現や解釈について理解を深め、考察した内容を説明している。	・それぞれの歌の表現の特徴や技法を、比較しながら理解している。 ・最も印象に残った歌について、どのような点にひかれたかを文章にまとめている。 ・友達がまとめた文章を読み、歌の表現や解釈について理解を深めている。	・それぞれの歌の表現の特徴や技法を、比較しながら理解していない。 ・最も印象に残った歌について、どのような点にひかれたかを文章にまとめていない。 ・友達がまとめた文章を読み、歌の表現や解釈について理解を深めていない。
主体的に学習に取り組む態度	⑥考察	・最も印象に残った歌について、どのような点にひかれたかを文章にまとめ、歌の表現や解釈についての理解を深めようとしている。	・最も印象に残った歌について、どのような点にひかれたかを文章にまとめようとしている。	・最も印象に残った歌について、どのような点にひかれたかを文章にまとめようとしていない。

■「モードの変遷」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 〔1〕アイ	<ul style="list-style-type: none"> 本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②作品の理解 〔2〕ア	<ul style="list-style-type: none"> 本文で例示されている短歌の表現の特質と時代の変化の関わりを理解し、説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文で例示されている短歌の表現の特質と時代の変化の関わりを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文で例示されている短歌の表現の特質と時代の変化の関わりを理解していない。
思考・判断・表現	③内容把握 読〔1〕ア	<ul style="list-style-type: none"> 与謝野晶子と斎藤茂吉の短歌において、「私」がどのように表現されているかを読み取り、その内容を説明している。 句またがりの技法を理解し、それが使われている短歌を見つけ、説明している。 「武器ではなく道具としての言葉」とは何を指すか筆者の考えを読み取り、根拠とともに説明している。 筆者が「近代および戦後の二大モード」をどのようなものだと考えているかを読み取り、根拠とともに説明している。 近年における短歌のモードにはどのようなものがあるかを読み取り、根拠とともに説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 与謝野晶子と斎藤茂吉の短歌において、「私」がどのように表現されているかを読み取っている。 句またがりの技法を理解し、それが使われている短歌を見つけている。 「武器ではなく道具としての言葉」とは何を指すか筆者の考えを読み取っている。 筆者が「近代および戦後の二大モード」をどのようなものだと考えているかを読み取っている。 近年における短歌のモードにはどのようなものがあるかを読み取っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 与謝野晶子と斎藤茂吉の短歌において、「私」がどのように表現されているかを読み取っていない。 句またがりの技法を理解し、それが使われている短歌を見つけていない。 「武器ではなく道具としての言葉」とは何を指すか筆者の考えを読み取っていない。 筆者が「近代および戦後の二大モード」をどのようなものだと考えているかを読み取っていない。 近年における短歌のモードにはどのようなものがあるかを読み取っていない。
	④作品の解釈 読〔1〕オ	<ul style="list-style-type: none"> 短歌を一つ選び、「時代性」がその短歌にどのように反映されているかをまとめ、説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 短歌を一つ選び、「時代性」がその短歌にどのように反映されているかをまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 短歌を一つ選び、「時代性」がその短歌にどのように反映されているかをまとめていない。

<p>主体的に 学習に取り 組む態度</p>	<p>⑤考察・話し合い</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・選んだ短歌に「時代性」がどのように反映されているか自分の考えをまとめ、話し合いを通して更に考えを深めようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・選んだ短歌に「時代性」がどのように反映されているか自分の考えをまとめ、話し合おうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・選んだ短歌に「時代性」がどのように反映されているか自分の考えをまとめ、話し合おうとしていない。
--------------------------------	-----------------	---	---	--

■ 「【言語活動】 共同で詩を創作する」 ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き 〔1〕ア	・詩の創作に使用する語句について、言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・詩の創作に使用する語句について、言葉の意味と働きを理解している。	・詩の創作に使用する語句について、言葉の意味と働きを理解していない。
	②共同創作の理解 〔1〕ウ	・言葉を組み合わせる共同創作を通して、意味の断絶や飛躍から、詩の新たな味わいや面白さが生まれることを理解し、その内容を説明している。	・言葉を組み合わせる共同創作を通して、意味の断絶や飛躍から、詩の新たな味わいや面白さが生まれることを理解している。	・言葉を組み合わせる共同創作を通して、意味の断絶や飛躍から、詩の新たな味わいや面白さが生まれることを理解していない。
	③表現の技法 〔1〕エ	・詩における表現の技法を理解し、表現したい内容にふさわしいものを選択して創作している。	・詩における表現の技法を理解し、創作している。	・詩における表現の技法を理解していないか、理解していても創作していない。
思考・判断・表現	④推敲・共有 書〔1〕エ	・言葉を組み合わせながら、表現したい内容とそれがより伝わる表現を吟味し整え、詩を創作している。 ・他の組が創作した詩について、よいところや工夫されているところを見つけ、伝えている。 ・活動を通して、自分が詩のどのような要素に価値を感じているかをまとめ、説明している。	・言葉を組み合わせながら、表現したい内容を考え、詩を創作している。 ・他の組が創作した詩について、よいところや工夫されているところを見つけている。 ・活動を通して、自分が詩のどのような要素に価値を感じているかをまとめている。	・言葉を組み合わせながら、表現したい内容を考え、詩を創作していない。 ・他の組が創作した詩について、よいところや工夫されているところを見つけていない。 ・活動を通して、自分が詩のどのような要素に価値を感じているかをまとめている。
学習に取り組む態度	⑤創作	・共同での詩の創作の過程や意見交換によって、詩に対する自分の価値観を捉え直し、発表を通して更に考えを深めようとしている。	・共同での詩の創作の過程や意見交換によって、詩に対する自分の価値観を捉え直そうとしている。	・共同での詩の創作の過程や意見交換によって、詩に対する自分の価値観を捉え直そうとしていない。

■「こころ」ループリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 〔1〕アイ	・本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②時代の特質 〔2〕ア	・作品の時代背景や当時の作者の状況を理解し、その内容を説明している。	・作品の時代背景や当時の作者の状況を理解している。	・作品の時代背景や当時の作者の状況を理解していない。
	③読書の意義 〔2〕イ	・登場人物の考え方や生き方を読み取ることを通して、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める意義について理解し、根拠をもって説明している。	・登場人物の考え方や生き方を読み取ることを通して、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める意義について理解している。	・登場人物の考え方や生き方を読み取ることを通して、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める意義について理解していない。
思考・判断・表現	④内容把握 読〔1〕ア	・本文を話の展開に沿って場面分けし、それぞれの内容を要約し、説明している。 ・「私」についての表現から、そのときの「私」の心理状態を読み取り、説明している。 ・Kの言葉から、そのときの心理状態を読み取り、説明している。	・本文を話の展開に沿って場面分けし、それぞれの内容を要約している。 ・「私」についての表現から、そのときの「私」の心理状態を読み取っている。 ・Kの言葉から、そのときの心理状態を読み取っている。	・本文を話の展開に沿って場面分けし、それぞれの内容を要約していない。 ・「私」についての表現から、そのときの「私」の心理状態を読み取っていない。 ・Kの言葉から、そのときの心理状態を読み取っていない。
	⑤解釈の多様性 読〔1〕エ	・Kが自殺した理由・原因について、本文から自分の考えをまとめ、根拠をもって説明している。 ・「私」がKの自殺をどのように受け止めたか自分の考えをまとめ、説明している。 ・「私」とKが散歩する場面の描写から読み取れることをまとめ、根拠を持って説明している。	・Kが自殺した理由・原因について、本文から自分の考えをまとめている。 ・「私」がKの自殺をどのように受け止めたか自分の考えをまとめている。 ・「私」とKが散歩する場面の描写から読み取れることをまとめている。	・Kが自殺した理由・原因について、本文から自分の考えをまとめている。 ・「私」がKの自殺をどのように受け止めたか自分の考えをまとめている。 ・「私」とKが散歩する場面の描写から読み取れることをまとめている。

		<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いを通して、文章の解釈には違いがあることを理解し、その内容を考察している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いを通して、文章の解釈には違いがあることを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いを通して、文章の解釈には違いがあることを理解していない。
主体的に 学習に取り組む 態度	⑥考察・話し合い	<ul style="list-style-type: none"> ・「私」とKが散歩する場面の描写から読み取れることについて、自分の考えをまとめ、話し合いを通して更に考えを深めようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「私」とKが散歩する場面の描写から読み取れることについて、自分の考えをまとめ、話し合おうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「私」とKが散歩する場面の描写から読み取れることについて、自分の考えをまとめ、話し合おうしていない。

■「文学のふるさと」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 〔1〕アイ	・本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②文学の特質 〔2〕ア	・「文学のふるさと」についての筆者の主張から、文学のよりどころについて理解し、その内容を説明している。	・「文学のふるさと」についての筆者の主張から、文学のよりどころについて理解している。	・「文学のふるさと」についての筆者の主張から、文学のよりどころについて理解していない。
思考・判断・表現	③内容把握 読〔1〕ア	・具体例と筆者の考えとの関係を読み取り、根拠とともに説明している。 ・「赤頭巾」「狂言『伊勢物語』」について、それぞれ筆者が着目している点を読み取り、根拠とともに説明している。 ・「文学のふるさと」について筆者はどのように捉えているか読み取り、根拠とともに説明している。	・具体例と筆者の考えとの関係を読み取っている。 ・「赤頭巾」「狂言『伊勢物語』」について、それぞれ筆者が着目している点を読み取っている。 ・「文学のふるさと」について筆者はどのように捉えているか読み取っている。	・具体例と筆者の考えとの関係を読み取っていない。 ・「赤頭巾」「狂言『伊勢物語』」について、それぞれ筆者が着目している点を読み取っていない。 ・「文学のふるさと」について筆者はどのように捉えているか読み取っていない。
	④考えの形成 読〔1〕カ	・筆者が主張する「文学のふるさと」を理解することを通して、文学のよりどころについての考えを深め、その内容を説明している。	・筆者が主張する「文学のふるさと」を理解することを通して、文学のよりどころについての考えを深めている。	・筆者が主張する「文学のふるさと」を理解することを通して、文学のよりどころについての考えを深めていない。
学習に主体的に取り組む態度	⑤意見の提示	・筆者が「文学のふるさと」をどのようなものだと考えているか、本文に即して筆者の主張をまとめ、説明しようとしている。	・筆者が「文学のふるさと」をどのようなものだと考えているか、本文に即して筆者の主張をまとめようとしている。	・筆者が「文学のふるさと」をどのようなものだと考えているか、本文に即して筆者の主張をまとめようとしていない。

■「文学の未来」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②文学の特質 (2) ア	・文学作品を読む意義についての筆者の主張を通して、文学の特質を理解し、その内容を説明している。	・文学作品を読む意義についての筆者の主張を通して、文学の特質を理解している。	・文学作品を読む意義についての筆者の主張を通して、文学の特質を理解していない。
	③読書の意義 (2) イ	・文学作品を読む意義についての筆者のものの見方や感じ方、考え方を読み取ることを通して、自分の考えを深める読書の意義を理解し、根拠とともに説明している。	・文学作品を読む意義についての筆者のものの見方や感じ方、考え方を読み取ることを通して、自分の考えを深める読書の意義を理解している。	・文学作品を読む意義についての筆者のものの見方や感じ方、考え方を読み取ることを通して、自分の考えを深める読書の意義を理解していない。
思考・判断・表現	④内容把握 読(1) ア	<ul style="list-style-type: none"> ・四つの意味段落のそれぞれで述べられている筆者の考えを読み取り、根拠とともに説明している。 ・現在の読者が文学作品を読むことの固有の意義について筆者の考えを読み取り、根拠とともに説明している。 ・文学作品とテキスト、読者の関係についての筆者の考えを読み取り、根拠とともに説明している。 ・文学作品と読者の豊かな関係についての筆者の考えを読み取り、根拠とともに説明している。 ・文学作品に接する中で読者が発見するものに 	<ul style="list-style-type: none"> ・四つの意味段落のそれぞれで述べられている筆者の考えを読み取っている。 ・現在の読者が文学作品を読むことの固有の意義について筆者の考えを読み取っている。 ・文学作品とテキスト、読者の関係についての筆者の考えを読み取っている。 ・文学作品と読者の豊かな関係についての筆者の考えを読み取っている。 ・文学作品に接する中で読者が発見するものに 	<ul style="list-style-type: none"> ・四つの意味段落のそれぞれで述べられている筆者の考えを読み取っていない。 ・現在の読者が文学作品を読むことの固有の意義について筆者の考えを読み取っていない。 ・文学作品とテキスト、読者の関係についての筆者の考えを読み取っていない。 ・文学作品と読者の豊かな関係についての筆者の考えを読み取っていない。 ・文学作品に接する中で読者が発見するものに

		ついでに筆者の考えを読み取り、根拠とともに説明している。	ついでに筆者の考えを読み取っている。	ついでに筆者の考えを読み取っていない。
	⑤ 考えの形成 読(1)力	・ 筆者が主張する文学作品を読む意義について考えを深め、その内容を説明している。	・ 筆者が主張する文学作品を読む意義について考えを深めている。	・ 筆者が主張する文学作品を読む意義について考えを深めていない。
主体的に 学習に取り組む 態度	⑥ 考察	・ 筆者の考える文学の意義を理解し、文学作品を読むことと、読者の関係について考えを深め、説明しようとしている。	・ 筆者の考える文学の意義を理解し、文学作品を読むことと、読者の関係について考えを深めようとしている。	・ 筆者の考える文学の意義を理解せず、文学作品を読むことと、読者の関係について考えを深めようとしていない。

■ 「【言語活動】 評論や解説を参考に論述する」 ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き (1) ア	・ 作品や参考文献について必要な言葉を理解し、正しく選択して書いており、使用している以外の言葉や使われ方についても理解している。	・ 作品や参考文献について必要な言葉を理解し、正しく選択して書いている。	・ 作品や参考文献について必要な言葉を理解せず、正しく選択して書いていない。
	②評論の理解 (1) ウ	・ 評論や解説を参考に自分の考えを論述することで、作品についての多面的理解が深まることを理解し、その内容を根拠とともに説明している。	・ 評論や解説を参考に自分の考えを論述することで、作品についての多面的理解が深まることを理解している。	・ 評論や解説を参考に自分の考えを論述することを理解していない。
	③表現の技法 (1) エ	・ 自分の立てた仮説についての検証の手順を理解し、適切な文献を選択し、根拠をもって論述している。	・ 自分の立てた仮説についての検証の手順を理解し、適切な文献を選択して論述している。	・ 自分の立てた仮説についての検証の手順を理解し、適切な文献を選択して論述していない。
思考・判断・表現	④作品の解釈 読(1) オ	・ 自分が立てた仮説に関する適切な文献を選び、そこからさまざまな解釈を読み取り、根拠とともに説明している。 ・ 他者の論述から、さまざまな解釈を読み取り、根拠とともに説明している。	・ 自分が立てた仮説に関する適切な文献を選び、そこからさまざまな解釈を読み取っている。 ・ 他者の論述から、さまざまな解釈を読み取っている。	・ 自分が立てた仮説に関する適切な文献を選び、そこからさまざまな解釈を読み取っていない。 ・ 他者の論述から、さまざまな解釈を読み取っていない。
主体的に学習に取り組む態度	⑤論述	・ 自分が立てた仮説について、評論や解説を参考にして構想を立てて論述し、解釈を深めようとしている。	・ 自分が立てた仮説について、評論や解説を参考にして構想を立てて論述しようとしている。	・ 自分が立てた仮説について、評論や解説を参考にして構想を立てて論述しようとしていない。

■「鞆」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 〔1〕アイ	・本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②時代の特質 〔2〕ア	・作品の寓意が表すものから、「現代」という時代の特質を理解し、その内容を説明している。	・作品の寓意が表すものから、「現代」という時代の特質を理解している。	・作品の寓意が表すものから、「現代」という時代の特質を理解していない。
	③読書の意義 〔2〕イ	・作品に込められた寓意を捉えることを通して、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める意義を理解し、根拠をもって説明している。	・作品に込められた寓意を捉えることを通して、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める意義を理解している。	・作品に込められた寓意を捉えることを通して、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める意義を理解していない。
思考・判断・表現	④内容把握 読〔1〕ア	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の舞台設定を確認し、青年の行動に対する「私」の印象を読み取り、根拠とともに説明している。 ・「私」と青年の会話から、青年が持つ鞆に対する「私」の気持ちの変化を読み取り、根拠とともに説明している。 ・鞆を持って歩く「私」の心情について読み取り、根拠とともに説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の舞台設定を確認し、青年の行動に対する「私」の印象を読み取っている。 ・「私」と青年の会話から、青年が持つ鞆に対する「私」の気持ちの変化を読み取っている。 ・鞆を持って歩く「私」の心情について、読み取っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の舞台設定を確認し、青年の行動に対する「私」の印象を読み取っていない。 ・「私」と青年の会話から、青年が持つ鞆に対する「私」の気持ちの変化を読み取っていない。 ・鞆を持って歩く「私」の心情について、読み取っていない。
	⑤解釈の多様性 読〔1〕エ	<ul style="list-style-type: none"> ・鞆が象徴するものを手がかりに、作品の主題について考えを深め、根拠とともに説明している。 ・他者の内容紹介文を読むことを通して、作品のさまざまな捉え方を理解し、根拠とともに 	<ul style="list-style-type: none"> ・鞆が象徴するものを手がかりに、作品の主題について考えを深めている。 ・他者の内容紹介文を読むことを通して、作品のさまざまな捉え方を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・鞆が象徴するものを手がかりに、作品の主題について考えを深めていない。 ・他者の内容紹介文を読むことを通して、作品のさまざまな捉え方を理解していない。

		説明している。		
主体的に 学習に取り組む 態度	⑥紹介文	<ul style="list-style-type: none"> 作者がこの作品で何を描きたかったのかを読み取ったうえで内容紹介文を書き、作品における表現の特徴について考えを深めようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 作者がこの作品で何を描きたかったのかを読み取ったうえで、内容紹介文を書こうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 作者がこの作品で何を描きたかったのかを読み取ったうえで、内容紹介文を書こうとしていない。

■「あの朝」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 〔1〕アイ	・本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②作品の背景 〔2〕ア	・登場人物の状況や心情の変化から、作品の背景を理解し、その内容を説明している。	・登場人物の状況や心情の変化から、作品の背景を理解している。	・登場人物の状況や心情の変化から、作品の背景を理解していない。
思考・判断・表現	③内容把握 読〔1〕ア	・結婚前と結婚後の暮らしについて、市子はそれぞれどのように感じているか読み取り、根拠とともに説明している。 ・今後、「ひとりの朝」があったとしても「あのときは違う」と市子が考える理由を読み取り、根拠とともに説明している。 ・かつての自分の朝について、市子はどのようなことを夫に話そうとしているのか読み取り、根拠とともに説明している。	・結婚前と結婚後の暮らしについて、市子はそれぞれどのように感じているか読み取っている。 ・今後、「ひとりの朝」があったとしても「あのときは違う」と市子が考える理由を読み取っている。 ・かつての自分の朝について、市子はどのようなことを夫に話そうとしているのか読み取っている。	・結婚前と結婚後の暮らしについて、市子はそれぞれどのように感じているか読み取っていない。 ・今後、「ひとりの朝」があったとしても「あのときは違う」と市子が考える理由を読み取っていない。 ・かつての自分の朝について、市子はどのようなことを夫に話そうとしているのか読み取っていない。
	④表現の特色 読〔1〕イ	・場面設定とその転換に伴う、市子の状況や心情の変化の描写の効果について理解し、その内容を説明している。	・場面設定とその転換に伴う、市子の状況や心情の変化の描写の効果について理解している。	・場面設定とその転換に伴う、市子の状況や心情の変化の描写の効果について理解していない。
主体的に学習に取り組む態度	⑤考察・話し合い	・市子の場合と比較しながら、自分の「なくすことで好きになったあれこれ」について考えをまとめ、話し合い、市子の心情の変化を読み取ろうとしている。	・市子の場合と比較しながら、自分の「なくすことで好きになったあれこれ」について考えをまとめ、話し合おうとしている。	・市子の場合と比較しながら、自分の「なくすことで好きになったあれこれ」について考えをまとめ、話し合おうとしていない。

■ 「【言語活動】 翻案作品を創作する」 ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き 〔1〕ア	・ 翻案作品の創作に必要な言葉を理解し、正しく選択して書いており、使用している以外の言葉や使われ方についても理解している。	・ 翻案作品の創作に必要な言葉を理解し、正しく選択して書いている。	・ 翻案作品の創作に必要な言葉を理解しておらず、正しく選択して書いていない。
	②翻案作品の理解 〔1〕ウ	・ もとの作品と翻案作品を比較することや翻案作品を創作することで、翻案によって、もとの作品にはない新たな表現効果が生まれることを理解し、根拠とともに説明している。	・ もとの作品と翻案作品を比較することや翻案作品を創作することで、翻案によって、もとの作品にはない新たな表現効果が生まれることを理解している。	・ もとの作品と翻案作品を比較することや翻案作品を創作することで、翻案によって、もとの作品にはない新たな表現効果が生まれることを理解していない。
	③表現の技法 〔1〕エ	・ 翻案作品の創作に必要な手順を理解し、その内容を説明している。 ・ 翻案作品の創作において、読み手に伝えたいことや感じてもらいたいことを効果的に伝えるために、適切な構成や展開を選択し、その内容を説明している。	・ 翻案作品の創作に必要な手順を理解している。 ・ 翻案作品の創作において、読み手に伝えたいことや感じてもらいたいことを効果的に伝えるために、適切な構成や展開を選択している。	・ 翻案作品の創作に必要な手順を理解していない。 ・ 翻案作品の創作において、読み手に伝えたいことや感じてもらいたいことを効果的に伝えるために、適切な構成や展開を選択していない。
思考・判断・表現	④構成や展開の工夫 書〔1〕イ	・ 読み手に伝えたいことや感じてもらいたいことを効果的に伝えるための構成や展開を検討・選択して翻案作品を創作し、根拠とともに説明している。 ・ 他者の翻案作品を読み込むことを通して、読み手に効果的に伝えるための構成や展開のさまざまな工夫を理解し、根拠とともに説明している。	・ 読み手に伝えたいことや感じてもらいたいことを効果的に伝えるための構成や展開を検討・選択して翻案作品を創作している。 ・ 他者の翻案作品を読み込むことを通して、読み手に効果的に伝えるための構成や展開のさまざまな工夫を理解している。	・ 読み手に伝えたいことや感じてもらいたいことを効果的に伝えるための構成や展開を検討・選択して翻案作品を創作していない。 ・ 他者の翻案作品を読み込むことを通して、読み手に効果的に伝えるための構成や展開のさまざまな工夫を理解していない。

<p>主体的に 学習に取り 組む態度</p>	<p>⑤翻案作品の創作</p>	<p>・読みに伝えたいことや感じてもらいたいことを効果的に伝えるために、構成や展開を工夫しながら翻案作品を創作し、作品への理解を深めようとしている。</p>	<p>・読みに伝えたいことや感じてもらいたいことを効果的に伝えるために、構成や展開を工夫しながら翻案作品を創作しようとしている。</p>	<p>・読みに伝えたいことや感じてもらいたいことを効果的に伝えるために、構成や展開を工夫しながら翻案作品を創作しようとしていない。</p>
--------------------------------	-----------------	--	--	---